

第 2 期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の論点

論点 1 第 2 期総合戦略（R3～7 年度）に必要とされる社会の変化への対応事項

- 計画の序章に、第 2 期総合戦略の今後の取組に対する大きな認識を示す、予測される情勢変化等の概要を追加記載。

事務局案

- ①ウイズコロナ時代への対応
- ②Society5.0 時代を見据えた D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ③2040 年問題を展望したまちづくり
- ④SDGs の視点を踏まえた取組

論点 2 全世代・全員活躍型のまちづくりの推進

- 女性、高齢者、障がい者、外国人、若者など、多様な人材が「居場所」と「役割」を持って「つながり」、生涯を通じて健康でアクティブに活躍できるまちづくり。
- 第 1 回検討会議において、外国人や障がい者などマイノリティの方も取り込んだ計画にすべきという意見。

事務局案

- ・第 1 期総合戦略では、女性の視点を踏まえた、「あなたのそこ！がすてき ウーマンライフはつかいち」を目標に掲げた施策を推進。
- ・第 2 期総合戦略では、女性に特化した目標・施策ではなく、まち・ひと・しごとの分野横断的な施策に関連した取組として整理

論点 3 ウィズコロナ時代への対応

- 新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされる「ウィズコロナ」の時代における地域経済の活性化、ライフスタイルや価値観の変化などに対応した新たな取組を推進。

事務局の案

- ・新たな基本目標を設定し、ウィズコロナ時代を見据えた施策の展開。

総合戦略基本体系（案）

